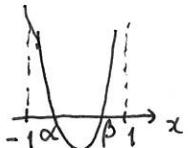


2014年第1問

- 1 a, b を実数とする。2次方程式 $x^2 + 2ax + b = 0$ の2つの解を α, β とする。重解の場合は $\alpha = \beta$ と考える。次の問いに答えよ。

- (1) α, β が実数で、 $|\alpha| \leq 1, |\beta| \leq 1$ をみたすとき、点 (a, b) の存在範囲を図示せよ。
 (2) α は虚数とし、 $\alpha = p + qi$ とおく。ただし、 p, q は実数であり、 i は虚数単位である。 p, q が $p^2 + q^2 \leq 1$ をみたすとき、点 (a, b) の存在範囲を図示せよ。



(1) 幸い式を φ とする。 $\varphi/4 = a^2 - b \geq 0 \cdots ①$

軸由は $x = -a \therefore -1 \leq -a \leq 1 \therefore -1 \leq a \leq 1 \cdots ②$

$f(x) = x^2 + 2ax + b$ とおくと、 $f(1) \geq 0, f(-1) \geq 0$ す

$1 + 2a + b \geq 0 \cdots ③ \quad 1 - 2a + b \geq 0 \cdots ④$

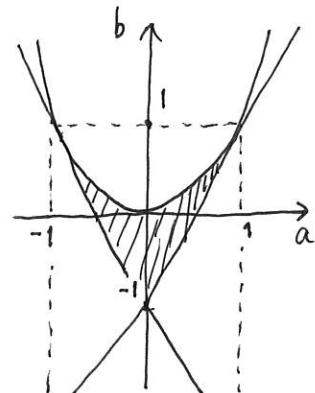
∴ 右図の斜糸線部分（境界線を含む）

(2) $\alpha = p + qi$ が角解 \Rightarrow 共役な複素数 $p - qi$ も解

$\therefore \beta = p - qi$

角解と復数の関係より、 $-2a = 2p \therefore p = -a$

$b = \alpha\beta = p^2 + q^2 \therefore b \leq 1 \cdots ①$



また、 $\varphi/4 = a^2 - b < 0 \cdots ②$

∴ 右図の斜糸線部分（曲糸線部分の境界線は含まず、 $(\pm 1, 1)$ も含まない
それ以外の境界線は含む）

